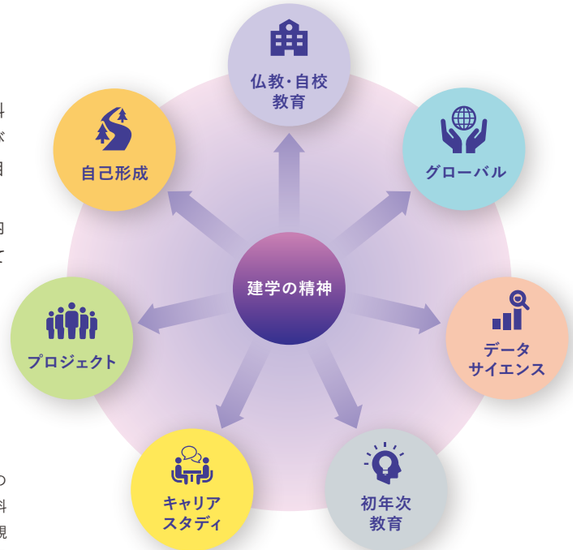
2026年4月より
新たなカリキュラムがスタート

共通教養科目

共通教養科目とは、すべての学部生を対象とした教養教育科目のことで、学士課程教育の基盤となる幅広い学問的および社会的知識と技能を身に付け、深い教養を涵養することを目的としています。
本学では、この共通教養科目を基礎に、各学部の専門的な内容をバランス良く身につける4年間のカリキュラムを展開しています。



仏教・自校教育科目群

建学の精神、および建学の精神に基づく本学の教育理念や人材養成の目的、教育方針などの理解を通じて、基礎的人間力の養成を目指す科目群です。建学の理念である仏教精神に基づく四つの力①自分を客観的にとらえる力、②目標に向かって継続し努力する力、③周りの人を思いやる力、④多様性を受け入れて協力する力を養います。

グローバル科目群

社会人基礎力の構成要素の一つである基礎語学力の向上を目指すとともに、グローバルコンピテンシーの涵養を目指す科目群です。多文化共生の第一歩として外国語を学び、異文化について理解することの意義を考え、大学における外国語学習に明確な動機付けを与える科目などがあります。

データサイエンス科目群

社会にあふれるデータを読み解き、あらゆる学問や産業分野における課題発見や課題解決および新たな知見を引き出すことを目指す「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」に対応した教育内容を提供し、数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、学ぶことや活用することの楽しさを実感できるカリキュラムを提供しています。

初年次教育科目群

社会動向の変化や多様化する初年次学生に対し、高等教育機関での学びに対応した基本的な資質の養成を図ります。「スタディ・スキルズ」では大学における基本的な読み・書き・思考の習得を行い、「キャリア・スキルズ1・2」では1～2年次の早期から、学生一人ひとりの職業観を育成し、自らのキャリアを自ら決定できる力を養うとともに、社会にスムーズに移行して貢献できる力を付けることを目指します。

キャリアスタディ科目群

社会人基礎力の養成、自己認識とキャリア形成を促す科目群です。「社会人基礎力・教養力」の養成を担う科目、「業種・業界研究」のきっかけを提供する科目、「職業体験」の性格を有する科目で構成しています。

プロジェクト科目群

主体的・協働的に問題を発見し、その問題を解決するためのアプローチ方法を身につけます。教育手法として、PBL（Project Based Learning）型の授業運営を取り入れ、自発性・創造性・知識の応用力・コミュニケーションスキルなど社会人基礎力の土台として必要とされる力を、他者との協働の中で総合的に学びます。

自己形成科目群

学問知や社会的な知識を幅広く習得するとともに、知識の活用、探求のきっかけとなる科目群です。「文化と芸術を学ぶ」「地域と社会を学ぶ」「人間と自然を学ぶ」の3領域で構成され、個々の学生が社会人基礎力のベースとなる知識教養の習得を通じて、自己形成に資する科目群として位置付けています。

学部横断プログラム

※プログラムの詳細は変更になる場合があります。

異なる学部・学科、分野領域の知を繋ぐプログラムとして位置付け、学部・学科の専門性に捉われず、萌芽的意識をもって時代の変化に即した新しい知と実践を創造することを目的としたプログラムです。
どの学部に所属していても、学部・学科の枠を超えて設けられたプログラムを履修することで、自分の専門領域とは異なる新たな視点や能力を身につけることができます。

事前オリエンテーション

パスポート科目（導入科目）
より実践的な内容へ学びを進めていくための基礎的な内容を学びます。

コア科目（基幹科目）
プログラムに応じ、専門領域の科目を履修することで、応用科目を履修するための知識を習得します。

オーバーオール科目（統括科目）
普段は学ぶことのできない実技・実践科目（フィールドワーク等）を履修します。

成果報告会

修了証発行

1 心と身体のマネジメントプログラム

※科目は変更になる場合があります。 ※本プログラムの受講にあたっては、人数制限があります。

▶ 授業テーマ

- ココロとカラダを科学し整える・整えられる人材を目指す。
- 自分のココロとカラダに向き合う体験により、自己を多角的に見つめ直すと共に、社会で活躍するために必要な他者理解の力と技を身に付ける。

▶ 履修モデル〈5科目10単位履修〉

1年生秋学期 パスポート科目	2年生 コア科目	3年生 オーバーオール科目
共通教養科目「人間の仕組みと活動」	仏教学部「仏教インターンシップ」 教育学部「思春期の心」 社会学部「ジェンダー論」	保健医療技術学部「ライフスタイルマネジメント」

2 文化財・文学・GISから読み解く京都

※科目は変更になる場合があります。 ※本プログラムの受講にあたっては、人数制限があります。

▶ 授業テーマ

- 歴史、文化、社会、グローバル化など「京都」に対する多角的な見方を獲得し京都の新しい魅力を発見し記録する力を養う。
- 京都の可能性や問題を理解し「何を変え」「何を守るべきか」を考え、発信する力を養う。

▶ 履修モデル〈5科目10単位履修〉

1年生秋学期 パスポート科目	2年生 コア科目	3年生 オーバーオール科目
共通教養科目「世界の中の日本文化・京都文化」	歴史学部「文化財学特論」 文学部「京都と文学（古典）」 文学部「京都と文学（近・現代）」	歴史学部「地理情報システム演習」